

認知症サポーターが地域で活躍 できる体制づくり

～行政（基幹型）と委託（地域型）包括の
認知症地域支援推進員の取組み～



高崎市のマスコット
「タカポン」

群馬県高崎市福祉部長寿社会課
地域包括支援担当 田中 和美

高崎市の概況①



☆群馬のイタリア☆

高崎市

高崎市役所



高崎白衣大観音



高崎市は東京から約100km。群馬県の中西部に位置し、面積459.16km²。南東から北西へと細長い形を成しており、南東部は関東平野の一部を形成する平坦地形である一方、北西部はゆるやかな丘陵地形や自然豊かな山々に囲まれた山間地形を有している。古くから交通の要衝で、関越自動車道や北関東自動車道の分岐点であり、上越新幹線、北陸新幹線が停車する高崎駅は全国有数の交通拠点である。平成18年より3度の合併で1市5町1村が合併し、県庁所在地の前橋市を抜いて県内一の人口となる。

世界記憶遺産 国内候補決定

上野三碑 (こうずけさんび)



高崎市の概況②

高崎市の人口と高齢化率

	高崎市全体	旧高崎	榛名	倉渕	箕郷	群馬	新町	吉井
0-14	49,068	32,640	2,138	242	2,865	6,844	1,523	2,816
15-64	220,410	149,678	11,321	1,772	11,996	24,827	6,951	13,865
65歳以上	100,337	65,896	6,508	1,582	5,625	9,802	3,539	7,385
75歳以上	48,622	32,268	3,204	874	2,502	4,391	1,816	3,567
全人口	369,815	248,214	19,967	3,596	20,486	41,473	12,013	24,066
高齢化率	27.1%	26.5%	32.6%	44.0%	27.5%	23.6%	29.5%	30.7%
後期高齢化率	13.1%	13.0%	16.0%	24.3%	12.2%	10.6%	15.1%	14.8%

※H29.4.30現在(外国人含まない)

日常生活圏域	46圏域
地域包括支援センター	<p>29ヶ所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営1ヶ所 (基幹型センター) ・委託28ヶ所 (地域型センター) <p>※H26年度までは直営9ヶ所。H27年度より26ヶ所の旧在宅介護支援センター受託法人へ委託。 さらに、H29年度から高齢者人口の増加等により2ヶ所増設。「待つ」福祉から「出向く」福祉へ。</p>
認知症地域支援推進員数	<p>32名 (直営4、委託28)</p> <p>委託包括1ヶ所に各1名配置</p>

高齢者あんしんセンター

※地域型センターの愛称



高崎市の認知症施策

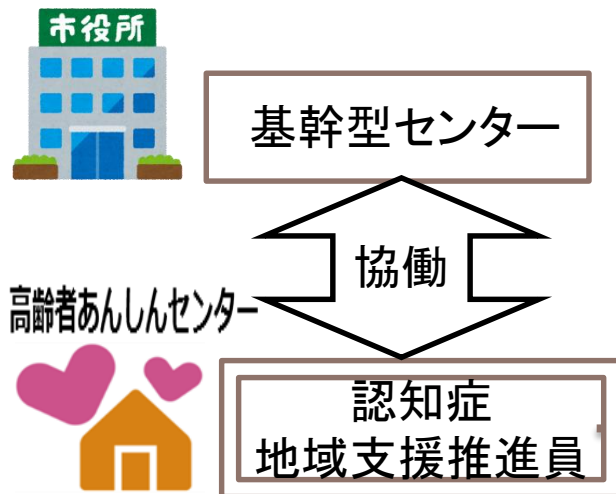
高崎市認知症施策推進計画(2015年度～2017年度)

【目指すべき姿】認知症になってもいつまでも尊厳を持って暮らせる高崎市

柱	取り組み
I 認知症ケアパスの普及	①認知症ケアパスの周知・活用 ②認知症ケアパスの見直し
II 早期診断・早期対応の体制強化	①医療体制の整備 ②認知症初期集中支援チームの設置 ③認知症の進行に合わせた早期対応の強化 ④認知症の人の適切なケアプラン作成のための体制整備
III 地域での生活を支える医療サービスの構築	①一般病院の認知症対応能力向上 ②専門機関に入院が必要な状態像の明確化 ③医療機関からの円滑な退院・在宅復帰への支援
IV 地域で生活を支える介護サービスの構築	①医療・介護職の円滑な連携 ②認知症の状態に応じた介護サービスの整備 ③地域の認知症ケアの拠点としての地域密着型サービス施設の活用推進 ④介護サービス事業者の認知症対応力の向上
V 地域での日常生活・ 家族支援の強化	①認知症に関する介護予防の推進 ②認知症地域支援推進員の充実・強化 ③地域で認知症の人を支える活動の支援 ④家族に対する支援 ⑤権利擁護相談・支援の充実 ⑥成年後見制度の利用促進 ⑦市民後見人の養成と活動支援
VI 若年性認知症施策の強化	①相談窓口の周知 ②若年性認知症の人と家族に対する支援



高崎市認知症地域支援推進員の役割



【推進員の要件】

① 認知症の医療や介護の専門的知識及び経験を有する医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、視能訓練士、義肢装具士、歯科衛生士、言語聴覚士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師、栄養士、精神保健福祉士又は介護支援専門員

② 上記①以外で認知症の医療や介護の専門的知識及び経験を有すると市町村が認めた者

【配置先】

長寿社会課包括支援担当
高齢者あんしんセンター28か所

認知症事業の企画・調整

- 「認知症カフェ」等の社会資源の開発
- 認知症多職種協働研修の実施

認知症に関する普及啓発

- 認知症ガイドブックの活用(H27年度作成)
- 認知症ケアパスの普及
- 認知症サポーター養成講座開催の協力

相談支援・支援体制構築

- 認知症の人や家族等への相談支援
- オレンジサポーターとの連携・調整
- 「認知症初期集中支援チーム」との連携等による、必要なサービスが認知症の人や家族に提供されるための調整

医療・介護等の支援ネットワークの構築

- 認知症の人が認知症の容態に応じて必要な医療や介護等のサービスを受けられるよう関係機関との連携体制の構築

活動の実際

取り組み① 認知症地域支援推進員の充実・強化

平成27年度高崎市認知症地域支援推進員ネットワーク会議

1.目的

高崎市の認知症地域支援推進員が推進員としての役割を理解し、PDCAサイクルを活かした推進員活動の進め方とプロセスを理解する。

2.日程及び内容

毎月第1金曜日 13時30分～16時30分

第1回(H27/10/9) 高崎市における認知症地域支援推進員の役割と活動

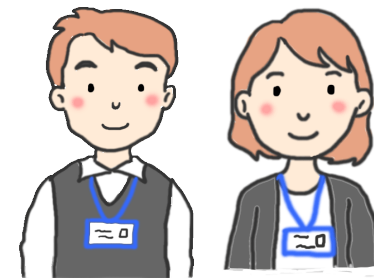
目標：高崎市認知症施策推進計画における認知症地域支援推進員の役割と具体的活動内容について理解する

1. 「高崎市認知症施策推進計画」について
2. 「高崎市認知症ケアパス」について
3. 認知症地域支援推進員の役割と活動
4. 今年度の重点活動
5. 意見交換

第2回(H27/11/6) 認知症に関連するニーズ、社会資源などの情報収集と整理

目標：認知症の人と家族が抱えるニーズを把握し、その解決に必要な地域の人材やサービス等の社会資源を集約・整理する

1. 収集した地域の社会資源や情報の共有と不足するサービスの検討
2. 担当地域のニーズの抽出と分析
3. 各地域における活動目標の設定
4. 意見交換



第3回(H27/12/4)

認知症疾患医療センターと認知症のニーズ等の共有と解決策の検討

目標：認知症ニーズの解決のために認知症疾患医療センターと情報を共有し、解決策を検討する

1. 認知症ニーズに関する情報の共有
2. 共有した認知症ニーズを解決するための解決策の検討
3. 意見交換

第4回(H28/1/8)

第5回(H28/2/5)

認知症に対応する社会資源の情報共有と提供

目標：集約・整理した社会資源の情報共有を認知症地域支援推進員間で図るとともに、関係者と市民に情報を提供する

1. 高崎市認知症ガイドブックの作成
2. 認知症地域支援推進員の周知チラシの作成
3. 意見交換

第6回(H28/3/4)

PDCAサイクルを活用した次年度の活動計画作成

目標：今年度の活動結果を踏まえ、次年度の活動計画を作成する

1. 活動結果の報告
2. 次年度の活動目標と内容の決定
3. 意見交換

- ☆公民館等に配布
- ☆高齢者の実態把握訪問時に持参
- ☆区長、民生児童委員の会議等でPR



○オレンジブックは、認知症をましく理解し、認知症の人や家族を支援する認知症サポートセンターの誌です。

もくじ

認知症の基礎知識	1～2
認知症ケアパスとは	3～4
予防	5
相談・医療	6
生活支援	7
介護・住まい	8
具体的な支援の例	9～12
家族への支援	13
高齢者あんしんセンター一覧	14

【さしこみ資料】 高崎市の忘れ相談連絡票

高崎市

はじめまして！！
高崎市認知症地域支援推進員

認知症についての相談の受付

認知症に関する医療や介護などのあらゆる相談に応じています。ご自宅にお伺いすることも可能です。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

相談無料

一人で生活するのが心配
最近物忘れが気になる
もとの忘れの専門外来はどこにある？
病院を受診するには？
症状が進んだときには、どうしたらよいの？
介護の悩みを聞いてもらいたい
他の人はどうやって介護しているの？

安心して暮らせるまちづくり

認知症の人が安心して生活できるまちづくりを進めています。どのようなお困りごとがあって、どのような支え合いが必要なのか、みなさまの声を聞かせてください。

- 認知症について詳しく知りたい。認知症に関する講座を聞いて欲しい
- 認知症の人や家族と地域の人が自由に参加して交流できる場が欲しい
- 家族介護者が集まり、相談や情報交換、勉強会などができる場が欲しい など

お問い合わせ 高齢者あんしんセンター ○ ○
高崎市○○町○○番地
☎ 027-○○○-○○○○
担当地域: ○ ○ ○
担 当: ○ ○

平成28年度高崎市認知症地域支援推進員ネットワーク会議

1.目的

昨年度の活動から明らかになった、市全体で取り組むべき課題について推進員が協働し、計画を立てて活動する。

2.日程及び内容

毎月第1金曜日 13時30分～16時30分



平成28年度 認知症地域支援推進員 重点活動

- 高崎市認知症施策推進計画原案の作成
(第7期介護保険事業計画に向けて)

新オレンジプランを理解し、高崎市の認知症施策推進計画を立てよう！



- 認知症カフェの開催手順作成

身近な居場所づくりが必要。
そのためには？



- 認知症講演会の開催

当事者や家族の視点に立った講演会を開いて、当事者の声を市民に届けたい！



第1回(H28/4/8) PDCAサイクルを活用した今年度の活動計画作成

目標：今年度の各推進員の地域における活動計画の作成と全体の重点活動と計画の作成

1. 平成28年度認知症地域支援推進員のメンバーについて
2. 認知症地域支援推進員の役割と活動
3. 今年度の活動計画の見直し（個人ワーク）、活動計画の共有（グループワーク）
4. 平成28年度高崎市認知症地域支援推進員重点活動について
5. 意見交換

第2回(H28/5/6) 重点活動別グループごとの実施計画作成

目標：今年度の推進員の重点活動の確認と実施計画の作成

1. 認知症地域支援推進員間の情報交換
2. 今年度の推進員の重点活動について
3. 重点活動別グループでの実施計画の作成・手順・内容の検討

第3回(H28/6/3) 重点活動別グループごとの作業

1. 認知症地域支援推進員間の情報交換
2. オレンジサポーター運営会議の報告
3. 小規模多機能事業者の認知症カフェ開催への協力について
4. 重点活動別グループでの作業

第4回(H28/7/1) オレンジサポーターの見守り活動について

目標：オレンジサポーターの見守り活動の流れについて共有する

1. 認知症地域支援推進員間の情報交換
2. オレンジサポーターとの連携会議の開催報告
3. オレンジサポーターの見守り活動の流れについて
4. 重点活動別グループでの作業

第5回(H28/8/5) 重点活動別グループ作業の最終報告

1. 認知症地域支援体制推全国セミナーの報告
2. 認知症カフェ、講演会チームの報告
3. 認知症施策推進計画作成チームについて
(分野別チームのメンバー発表、計画作成の進め方について)

第6回～第12回 高崎市認知症施策推進計画の原案作成（第7期介護保険事業計画に向けて）

目標：新オレンジプランの柱に沿った高崎市の認知症施策推進計画（原案）を作成する

1. 認知症地域支援推進員間の情報交換
2. 柱別のチーム作業
3. その他（必要な議題を随時入れていく）



平成28年度 認知症地域支推進員の重点活動の紹介



認知症講演会の開催

『支え合おう』認知症講演会
～地域で暮らしていくために～



92名の市民が
参加しました！

高齢者あんしんセンターより

『支え合おう』認知症講演会
～地域で暮らしていくために～

認知症は、病気の進行により症状が変化し、日々の生活の中でできなくなる事もありますが、認知症の症状の正しい理解と適切なケアが提供され、生きがいを持って暮らしていくことができます。
高崎市は、「認知症になってもいつまでも専断をもって暮らせる高崎市」を目指し、高崎市内 26 カ所にあるあんしんセンターに認知症地域支推進員を各センター1名配置して、地域での認知症の理解を深める活動などを実施しています。
今後、認知症地域支推進員が中心となって、認知症の方を地域で支え合うために、ご本人様、ご家族様から聴くメッセージに、皆様と一緒に耳をかたむけたいと願い、下記のとおり講演会を開催することになりました。ぜひご参加ください。

○日時＝平成28年1月25日(火) 13:30～15:30

○会場＝高崎市民総合センター 第一会議室

○内容 ①本人・ご家族が語る、認知症の診断からこれまでのこと

②他家＝市内に在住の家族、在学の人

③定員＝200名

④費用＝無料

○主催＝高崎市・高崎高齢者あんしんセンター認知症地域支推進員

○申し込み・問い合わせ先＝奥野佳良

電話番号：321-1319(直通)

*申し込みは10月21日(金)まで



高齢者あんしんセンター ●●○
電話番号 ○○-○-○○○○
認知症地域支推進員 ○○



認知症カフェ一覧表作成

高崎市内で開催されている **認知症カフェ**

認知症カフェって何だろう？

認知症カフェは厚生労働省により「認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき集う場」として、認知症の人や家族を支援する取り組みの一つとされています。事業所独自のネーミング「オレンジカフェ」があります。目的は同じです。

だれが参加できるの？

認知症の方、ご家族、地域の方、専門職の方など、どなたでも参加することができます。

どんなところ？何をやるの？

- 認知症の方やご家族がお茶を飲みながらゆっくりと過ごせる場です。
- 認知症の方が社会に参加できる場です。
- 認知症専門職がご家族の相談をお受けします。
- 認知症について詳しく知りたい方に情報提供をします。
- 日頃の思いや悩みを言葉に語り、安らげる場です。
- ご家族同士で情報交換ができるコミュニティの場です。
- 認知症の人、ご家族、地域住民が互いに交流することで、認知症への理解を深められることが期待されています。
- 時間内ならいつでも出入りが自由です。



高崎市内では、認知症の方やその家族を支え、認知症への理解を深め、地域で暮らしていく居場所づくりなどを目的とする「認知症カフェ」が、さまざまな団体によって開催されています。各団体からの情報を一覧にまとめました。是非ご利用ください。

地域	区	名称	会場(住所)	開催頻度 開催時間	主な内容 (参加費)	問合せ先 TEL
岩鼻		はな喫茶	結實園地集会所 台新田町307	月に1回 第4火曜日 (祝祭日除く) 10:00～12:00	語り合い・ティータイム 専門職による相談等 (無料)	027-347-3700 高齢者あんしんセンターふると
		ゆめ喫茶	高齢者あんしんセンターふると内 結實町1369	月に1回 第2日曜日 (祝祭日除く) 10:00～16:00	語り合い・ティータイム 認知・リハビリ・セラノ 生演奏・カラオケ教室 専門職による相談等 (無料)	027-347-3700 高齢者あんしんセンターふると
岩鼻		ニコニコまっちゃ ようざん栗崎	ケアサポートセンター ようざん栗崎 栗崎町141-1	月に1回 第3土曜日 13:30～15:00	語り合い・ティータイム ケアサポートようざん栗崎 専門職による相談	027-353-4393 ケアサポートようざん栗崎 027-347-3700 高齢者あんしんセンターふると

大須	オレンジカフェ ようざん大須	ケアサポートセンター ようざん大須 集崎町1160-1	月1回予定 日時等はお問い合わせ下さい	語り合い ティータイム 専門職による相談 体検等 (無料)	027-352-6366 高齢者あんしんセンターこまい 027-366-8604 ケアサポートセンターようざん大須
片岡	ひまわりカフェ片岡	たすけあいサロンよつてつて片岡 片岡町3丁目2-18	月1回第4木曜日 10:00～12:00	語り合い・ティータイム 専門職による相談 勉強会等 体検等 (無料)	027-325-5085 認定NPOの法人 ハートフル 027-325-3578 高齢者あんしんセンター高風園
金井瀬	D'sカフェ	じゃんけんぼん金井瀬 地域支え合いセンター 金井瀬137-5	毎週月曜日 10:00～12:00	ティータイム (無料)	027-343-3111 じゃんけんぼん金井瀬
北	オレンジカフェようざん麻塚	ナーシングホーム ようざん2階ホール 麻塚町1030-1	数ヶ月の第4火曜日 14:00～15:00	飲み会 (100円)	027-361-6812 ケアサポートようざん麻塚
倉賀野	ふれあいサロン倉賀野	ケアサポートセンター ようざん倉賀野 倉賀野町2189-3	月1回 不定期にてお問い合わせください	語り合い・ティータイム 専門職による相談 体検・福祉等 (無料)	027-347-7277 高齢者あんしんセンター倉賀野
群馬	D'sカフェ (デイスカフェ)	ぼん 近隣大塚 高崎市棟高町954-8	月に2回 第1月曜日 10:00～12:00	専門職による相談 認知症のご本人・介護者・認知症について話したい方等の参加可 ・ティータイム	027-350-3191 NPO法人 介護者 じゃんけんぼん ・ティータイム
群馬	CARER'sカフェ (カワズカフェ)	NPO法人じゃんけんぼん 近隣大塚 高崎市棟高町954-8	月に1回 第4土曜日 10:00～12:00	介護者としての相談 患者等、実践体験を 「話せる・聞ける・吐き出せる」しやべり場	027-350-3191 NPO法人 じゃんけんぼん
佐野	オレンジカフェ ようざん双葉	双葉町公民館 高崎市双葉町21-13	月に1回 第3金曜日 15:15～16:15	語り合い・ティータイム 専門職による相談 毎回テーマあり (無料)	027-366-9943 ケアサポートセンターようざん双葉
新高橋	くろみカフェ	地域福祉交流センター2階研修室 高崎市平野町1037-1 *場所変更ありお問い合わせください	2か月に1回 開催日はお問い合わせください	語り合い・ティータイム 体検 脳トレク (100円)	027-387-0007 高齢者あんしんセンターMWS日高北
旧高崎	オレンジカフェ ようざん八幡原	特別養護老人ホーム モチナート多目的室 八幡原町1009-30	第4金曜日 13:30～14:30 変更の場ありお問い合わせください	語り合い ティータイム(飲物代) 福祉・講話 専門職による相談等 (無料)	027-366-6255 特別養護老人ホームモチナート
中央	畑カフェ	安国寺 高崎市通町90	月に1回 第4水曜日 (祝祭日は除く) 14時～15時30分 (100円光量)	語り合い ティータイム 専門職による相談・講話 本・パンフレット紹介・歌等	027-322-2011 特別養護老人ホーム 027-361-6743 ケアサポートセンターようざん石原
寺尾	地域集い地 げんき茶屋	ケアサポートセンター ようざん石原 石原町4516-1	月に1回 第2木曜日 10:00～11:30	語り合い・ティータイム 専門職による相談、体検 勉強し、歌 (無料)	027-324-8844 高齢者あんしんセンターふくと 027-361-6743 ケアサポートセンターようざん石原

市内37ヶ所 (平成29年4月末)
☆高崎市ホームページに掲載

平成29年度高崎市認知症地域支援推進員ネットワーク会議

1.目的

昨年度に引き続き、活動から明らかになった、市全体で取り組むべき課題について推進員が協働し、計画を立てて活動する。

2.日程及び内容

原則毎月第1金曜日 13時30分～16時30分

平成29年度 認知症地域支援推進員 重点活動



●認知症サポーター・オレンジサポーター養成講座の見直し

認知症の初期症状って？
早期発見・早期受診につながる講座を目指して。

●オレンジサポーターの周知

オレンジサポーターって？
活動を広く住民や関係者に周知したい。
そのためには？



●若年性認知症対策

若年性認知症対策に積極的に取り組もう!!



取り組み② 地域で認知症の人を支える活動の支援

☆ 認知症サポーター、オレンジサポーターの養成

オレンジサポーターとは？

認知症サポーター養成講座を終了し、地域で活動する意思のある人で、認知症サポーターフォローアップ研修を受講した人

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	これまでの養成者数
認知症サポーター	2,634	1,447	1,628	2,011	1,500	1,556	25,518
オレンジサポーター	308	0	108	0	0	0	416

平成27年度に活動の見直しを実施



平成29年4月時点での登録者数 **224人**



☆オレンジサポーターの組織図

認知症支援推進部会

地域での認知症の理解を深める活動や、認知症の人やその家族を支援する活動

「運営会議」

- ・部会長1名、副部会長2名をおく(各ブロックから選出されたリーダーの中から決める)
- ・部会の活動・運営に関することを検討する

運営会議 (部会長1名、副部会長2名)

ブロック会議
(リーダー、サブリーダー)

ブロック会議
(リーダー、サブリーダー)

ブロック会議
(リーダー、サブリーダー)

「ブロック会議」

- ・小学校区をもとに、15のブロック分け
- ・各ブロックで、リーダー1名、サブリーダー1名以上を決める
- ・各ブロックのオレンジサポーターが集まり、運営会議の検討結果などを共有したり、ブロックの活動について検討する

「連携会議」

地域型包括の認知症地域支援推進員が開催する

☆認知症支援推進部会について

- ・オレンジサポーターは、「高崎市地域づくり・支え合い体制推進ネットワーク協議会」の中の「**認知症支援推進部会**」に所属する。
- ・「認知症支援推進部会」はオレンジサポーターで構成され、認知症の人を支援するための活動内容と情報の共有を図る。

高崎市地域づくり・支え合い体制推進ネットワーク協議会

介護予防推進部会

個人や、地域での介護予防の取り組みを促進する活動
(介護予防サポーター)

認知症支援推進部会

地域での認知症の理解を深める活動や、認知症の人やその家族を支援する活動
(オレンジサポーター)

地域支え合い推進部会

暮らしに必要な生活支援等の体制を整えていく活動
(地域支え合いサポーター)

運営会議 (部会長1名、副部会長2名)

ブロック会議
(リーダー、サブリーダー)

ブロック会議
(リーダー、サブリーダー)

ブロック会議
(リーダー、サブリーダー)

☆平成29年度 オレンジサポーター



ブロック会議（連携会議）及び運営会議開催予定表

月	4	5	6	7~12	1	2	3
会議名		ブロック会議 （連携会議）	運営会議		ブロック会議 （連携会議）		運営会議
		5月末まで	下旬		2月末まで		下旬
内容		<ul style="list-style-type: none"> ・新リーダー、サブリーダーの選出 ・今年度の活動について 	<ul style="list-style-type: none"> ・新部会長、副部会長の選出 ・今年度の活動について 	必要に応じて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック会議の場で意向確認書、活動報告書の記入及び提出 ・今年度の活動の振り返り来年度に向けて 		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動の振り返り、来年度に向けて

☆ブロック会議 (連携会議)の様子



認知症地域
支援推進員

☆活動について、前向きで活発な意見が出されました！



～今年度の振り返り～

- ・ オレンジサポーターによる寸劇の劇団（にここ劇団）を立ち上げた。
- ・ ケアマネからの依頼を受けて、見守りに入った。
- ・ 認知症講演会への参加・協力を行なった。

～来年度に向けて～

- ・ 見守りが必要と思われる住民に関する情報は、オレンジサポーターからも、積極的に高齢者あんしんセンターへ提供していく。
- ・ まずは、カフェについて知るため、参加してみることから始める。



認知症地域
支援推進員

オレンジサポーターの活動の見直し

以前の活動

認知症高齢者宅の玄関先での見守りや、所在不明者のメールを受けての町内巡回など、活動内容が限られていた。

- ➔ 支援をした事例は少数のみ
- ・ サポーターは地域で活動する意思と意欲があるのに、活躍できる場が少ない
- ・ 玄関先での見守りのみで、その他のニーズがあっても対応できない

見直し後



本人・家族の要望に寄り添った、より柔軟で、個別的な見守り活動に見直し、認知症に関する知識の普及啓発にも取り組むなど、活動内容を拡充。

- ・ 改めて活動継続の意向調査を実施、小学校区をもとに15ブロックに分け組織化。
- ・ 高齢者あんしんセンターの認知症地域推進員が、連携調整役になって、情報を共有しながら地域の実情に合わせた活動ができるようにした。



☆ オレンジサポーターの活動

H28.5開催の運営会議の資料より

活動	具体的内容・今年度の取り組み
<p>1. 認知症に関する知識の普及・啓発</p> 	<p>認知症サポーター養成講座において、開催時の周知活動や当日の受付、寸劇等の運営を支援します。</p> <p>★サポーターさん自身も楽しみながら活動しています。</p> <p>地域型包括の認知症地域支援推進員から、オレンジサポーターへ協力の依頼。</p>
<p>2. 認知症高齢者の見守り活動</p> 	<p>認知症地域支援推進員と協働し、地域で暮らす認知症の方の見守り訪問等を行います。</p> <p>★認知症になっても、ちょっとした見守りや手助けがあれば住み慣れた自宅での生活を継続することができます。ご本人の思いに寄り添いながら、「どんなことが必要とされていて、自分には何ができるのか」を考えることが活動の第一歩となります。</p>

活動

具体的内容・今年度の取り組み

3. 認知症に対応した 地域のつどいの場の 設置や運営の支援



地域のつどいの場において運営者のサポートや活動の支援、利用者の見守りや傾聴、声掛け等を行います。利用者の趣味活動や好きなこと等を一緒に行うなど生きがい活動を支援します。
★“つどいの場”が生まれている地域では、オレンジサポーターの皆様が活躍しています。同じ地域で暮らしてきた住民・仲間だからこそできる話や、わかりあえる話があります。また、声をかけ合うことで生まれる安心感もあります。各自の得意分野を活かしながら活動していきましょう。

地域型包括の認知症地域支援推進員から、
オレンジサポーターへ協力の依頼。



活動

具体的内容・今年度の取り組み

4. 市及び高崎市認知症地域支援推進員が行う事業への協力



市及び認知症地域支援推進員、高齢者あんしんセンターと連携し、協力して事業を行います。

地域型包括の認知症地域支援推進員から、オレンジサポーターへ協力の依頼。

5. オレンジサポーターの養成研修における研修生の実習指導



認知症サポーター養成講座を受講し、地域でオレンジサポーターとして活動したいと希望している人に対して、研修の一環として現場実習をする予定です。実習では、活動しているサポーターが、新サポーターと一緒につどいの場等に行き、現場の様子を伝える役割を担います。

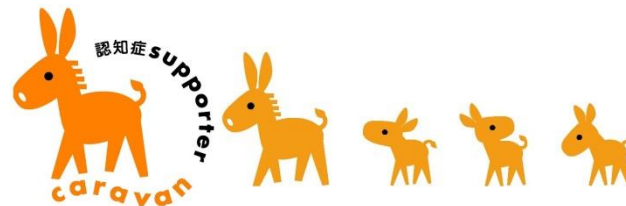
6. その他、高崎市認知症施策の推進事業への協力



市が開催する研修等を通じて、地域で活動するために必要な知識や技術の習得に努め、認知症施策の推進事業への協力を行います。

活動1. 認知症に関する知識の普及・啓発

認知症サポーター養成講座への協力



☆寸劇に出演☆

劇団に所属しているオ
レンジサポーターさん。
迫真の演技です!!



活動2.

認知症高齢者の見守り活動



	Step1 見守り対象者の 把握	Step2 導入の可否の 検討	Step3 活動内容の 検討	Step4 顔合わせ
従来	本人・家族が支援の導入を検討し、申請書の提出により申し出	地域包括支援センターが訪問し、状況確認 民生委員から情報収集	地域包括支援センターから、活動ができるオレンジサポーターへ連絡	本人・家族・民生委員・オレンジサポーターの顔合わせ
今後	地域型包括支援センターやケアマネージャーによる状況把握	地域型包括支援センターが情報収集し、本人・家族の要望を確認（※1見守り活動確認票の作成） それに基づく見守りの導入に向けての判断	見守り活動の内容と見守りの実施体制の検討、担当者の選定 原則として、地域型包括支援センターがブロック会議を召集	地域型包括支援センターが民生委員等関係者に報告 本人・家族とオレンジサポーターの顔合わせ訪問

(続き)

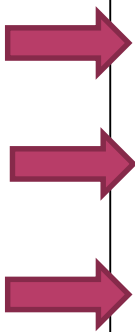
	Step5 見守り活動実践	Step6 活動報告書の記載	Step7 活動報告書の提出
従来	“玄関先まで”の見守りまたは声かけの訪問	訪問活動の日時やそのときの様子を記載	各月ごとに地域包括支援センターへ提出
今後	本人・家族の要望に寄り添った、より柔軟で、個別的な見守り活動 地域型包括支援センターが、※2見守りプランを作成	各活動内容について、月ごとの活動回数を記載 活動時に気になったこと・いつもと違う様子が見られたときは、その都度地域型包括支援センターに連絡	地域型包括支援センターへ年度末に提出

見守り活動確認票（※1）

地域型包括支援センターが情報収集し、本人・家族の要望を確認して作成します。これに基づき、オレンジサポーターの活動内容・体制について検討します。

主な項目

- 緊急時の家族等の連絡先
- 本人の状況
（見守り活動が必要であると判断した状況）
- 本人・家族が希望する見守り活動の内容
（オレンジサポーターに希望する内容と希望しない内容）



記入日	28年 3月 15日		記入者氏名	群馬 高子		
対象者	フリガナ	タカサキ ハナコ		生年月日 年齢	明治・大正・昭和 10年 10月 10日 (80) 歳	性別 男・女
	氏名	高崎 花子				
	住所 連絡先	〒370- 高崎市高松町 35-1 電話番号 (027) 321-1319				
家族等の連絡先	緊急連絡先①	フリガナ	タカサキ ジロウ		続柄	二男
		氏名	高崎 次郎			
		住所 連絡先	〒 - 高崎市〇〇町 1234 電話番号：(090) 111 -2222			
	緊急連絡先②	フリガナ			続柄	
		氏名				
		住所 連絡先	〒 - 電話番号：() -			
	緊急連絡先③	フリガナ			続柄	
		氏名				
		住所 連絡先	〒 - 電話番号：() -			
本人の状況 (見守り活動が必要だと判断した状況)	<p>独居で生活しているが、半年前から物忘れが目立ち始め、毎月参加していたサロンも休みがち。ゴミ出しの日も忘れることが多くなり、出し忘れたゴミが台所にそのままになっている。長男は県外在住。二男が市内に住んでいるが、独身で仕事が忙しく月に1～2回程度しか訪問できない。買い物や調理、洗濯などは一人で行え、独居生活を継続することは可能な状況ではあるが、一日中一人で過ごすことが多いため、定期的な声かけ、見守り及び外出の機会を増やす支援が必要である。</p>					
本人・家族が希望する見守り活動の内容	<p>(希望しない内容がある場合には、併せて記載してください。)</p> <p>【本人】一日中一人で過ごしているため、話し相手になって欲しい。趣味の編み物を一緒にしたい。サロンや認知症カフェなど、集いの場所に参加したい。でも、一人では参加することが難しくなってきたため、一緒に参加してもらいたい。 ゴミ出しの日を忘れることが多くなった。ゴミ出しの日に声をかけてもらいたい。</p> <p>【家族】仕事が忙しくなかなか訪問できない。地域のオレンジサポーターさんの力を借り、今の生活を続けて欲しい。</p>					

見守りプラン（※2）

地域型包括支援センターが作成します。

主な項目

○担当のオレンジサポーター氏名

○見守り活動の内容

曜日

時間帯（午前または午後）

内容

○同意欄



見守りプラン（記載例）

プラン作成日	28年 4月 1日		
フリガナ	タカサキ ハナコ	住所 連絡先	〒370-3501 高崎市 高松町 35-1 電話番号：(027) 321-1319
氏名	高崎 花子様		
見守り開始日	28年 4月 8日（金）		
担当の オレンジ サポーター	長寿 太郎（月・水） 安心 咲子（水・金）		高齢 福美（月・金）
見守り活動の 内容	曜日	時間帯	内容
	月	午前・ <u>午後</u>	・話し相手 ・第1月曜日は地区のサロンへ一緒に同行する
	水	<u>午前</u> ・午後	・話し相手 ・ゴミ出しの確認
	金	午前・ <u>午後</u>	・話し相手 ・趣味の編み物を一緒にする（花子さんに教えてもらう） ・第3金曜日は認知症カフェへ一緒に参加する

上記のプランに基づき、高崎市オレンジサポーターに見守りを依頼します。
また、高齢者あんしんセンターが、利用者および家族等の個人情報について、見守りの実施に必要な範囲で、担当するオレンジサポーター、担当民生委員、居宅介護支援事業者その他関係する者と情報を共有することに同意します。

平成 28年 4月 1日

氏名（自署） 高崎 花子

本人の署名が難しい場合の代筆者（ご家族等）

氏名 高崎 次郎（続柄：二男）

問い合わせ先・連絡先
高崎市高齢者あんしんセンター（〇〇〇〇）
電話：（ 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 ）
担当者：（〇〇）

活動3.

認知症に対応した地域のつどいの場の設置や運営の支援

頃かふえとは？
認知症の方ご本人、ご家族、地域の皆さんの交流の場です。おきという癒しの空間の中、お香のかおりにつつまれ一緒にお茶を飲み、お話をしませんか？

頃かふえ
始めます

あいs
オレンジカフェ

毎月 第2木曜日 開催
10:00~11:30

開催時間中は、出入り自由です。お気軽にご利用ください。

場所：モスバーガー 高崎豊岡店内

内容
ご出席の皆様とお茶やお食事を楽しみながら、情報交換を行います。認知症についての相談事や理解を深める場として気軽に活用してください。

開催
◆高齢者あんしんセンター豊岡 027-381-5367 (担当：矢島)
◆高齢者あんしんセンター八幡 027-381-5367 (担当：山田)



認知症地域支援推進員設置の効果



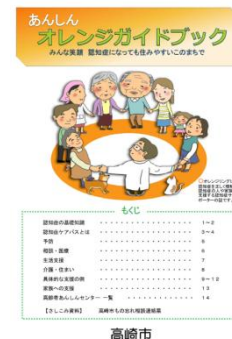
①市内28ヶ所に推進員が設置されたことにより、身近な認知症の相談窓口。



②認知症地域支援推進員がオレンジサポーターの活動の連携調整役になることで、情報を共有しながら地域の実状に合わせた活動ができるようになった。

③ネットワーク会議を開催して活動についての意識統一を図り、推進員の力を集結することで、全員が認知症施策の推進に主体的に取り組むことができ、成果を上げている。

例) オレンジガイドブックの作成
本人、家族の視点に立った講演会の開催等



高齢者あんしんセンター 認知症講演会
『支え合おう』認知症講演会
～地域で暮らししていくために～

認知症は、病気の進捗により症状が変化し、日々の生活の中で定かなくなる事もありますが、適切な療養の正しい知識と適切なケアがあれば、生きがいを持って暮らすことができます。

高崎市は、「認知症になってもいっしょに暮らそう」という理念のもと、高崎市を11区に分けて、各区内に28ヶ所あるあんしんセンターに認知症地域支援推進員を各センター1名配置して、地域で認知症の理解を深めるとともに活動を進めています。

今回、認知症地域支援推進員が中心となって、講演会の開催と認知症ケアの推進について、ご本人様・ご家族様が自ら語るメッセージに、皆様と一緒に聞きかたけたいと思い、下記のとおり講演会を開催することになりました。ぜひご参加ください。

- 〇日時→平成28年10月25日(木) 13:30～15:30
- 〇会場→高崎市総合市民センター 第一会議室
- 〇内容→ご本人・ご家族が語る、認知症の現状からこれまでにのご経験
- 〇対象→市内に在住の市民、在学の方
- 〇定員→200名
- 〇費用→無料
- 〇申し込み→高崎市・高崎市高齢者あんしんセンター認知症地域支援推進員
- 〇申し込み・問い合わせ先→高崎市社会福祉課
電話番号：321-1319(直通)
※申し込みは10月21日(金)まで

高崎者あんしんセンター ●●
電話番号 〇〇-〇〇〇〇
認知症地域支援推進員 ○○

認知症地域支援推進員活動の課題

- ①地域の関係機関と顔の見える関係作り
 - ・認知症地域支援推進員そのものと、活動内容の地域での認知度が低い。
 - ・オレンジサポーターの認知度が低く、活動も少ない。
- ②地域の実状に合わせた活動の展開
 - ・P D C Aサイクルに基づく活動の実践
 - ・「事業すること」が目的になってしまう傾向がある

高齢者あんしんセンター



地域型

- ①推進員一人ひとりの意見やアイデアを大切にしつつ、目的、目標に沿った取り組みにまとめる。
- ②関係部署と連携を図る。
- ③人材の確保。（1センター 1 推進員）
- ④施策の共通理解。



基幹型

今後の活動・取り組みの方向性

地域型

- ① 認知症地域支援推進員の住民への周知。
- ② オレンジサポーターとの連携強化、活動体制の確立。
- ③ オレンジサポーターと共に活動について、住民・区長・民生委員やケアマネ等関係者への周知と、活動の場づくり。
- ④ 認知症カフェ等の居場所づくり。

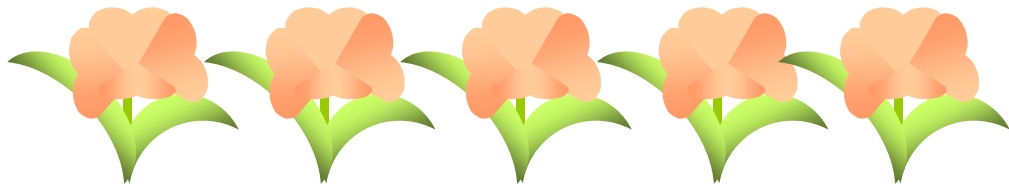


基幹型

- ① 推進員活動に必要な予算の確保。
- ② ネットワーク会議の開催。
- ③ 関係部署との連携、調整。
- ④ 各種サポーター（介護予防サポーター、支え合いサポーター）との連携。



上野三碑 (こうずけさんぴ)



ご清聴ありがとうございました

